

議案第 7 号

令和 4 年度 三股町社会福祉協議会事業実績報告書

令和5年5月26日提出

三股町社会福祉協議会  
会長 木佐貫 辰生

# 令和4年度 社会福祉法人三股町社会福祉協議会 事業実績報告書

## 1. 法人運営事業

### (1) 会務の適正な運営並びに事務局機能の充実

#### ① 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催

##### ア. 令和4年5月31日(理事会)

- ・令和3年度 事業報告
- ・一般及び特別会計決算報告 ほか
- ・理事会終了後に評議員選任・解任委員会を開催

##### イ. 令和4年6月21日(評議員会)

- ・令和3年度 事業報告
- ・一般及び特別会計決算報告 ほか

##### ウ. 令和4年9月29日(理事会)

- ・令和4年度共同募金運動計画(案)について

##### オ. 令和5年3月13日(理事会)

- ・令和5年度社会福祉協議会事業計画(案)並びに予算(案)審議
- ・令和5年度共同募金委員会事業計画(案)並びに予算(案)審議
- ・令和5年度日本赤十字社三股町分区事業計画(案)並びに予算(案)審議ほか

##### カ. 令和5年3月27日(評議員会)

- ・令和5年度社会福祉協議会事業計画(案)並びに予算(案)審議
- ・令和5年度共同募金委員会事業計画(案)並びに予算(案)審議
- ・令和5年度日本赤十字社三股町分区事業計画(案)並びに予算(案)審議ほか

#### ② 県社協及び他市町村社協等との連携

- ・宮崎県社会福祉協議会事務局長会議
- ・市町村社会福祉協議会職員研修会
- ・宮崎県市町村社協連絡協議会理事会・総会

### (2) 健全な財務運営のため会計監査機能の充実

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| ① 会計事務所(税理士)による定期監査 | 奇数月に年6回実施     |
| ② 監事による監査(年1回)      | 令和5年5月19日実施   |
| ③ 委託事業に対する消費税の納付準備  | 専門的な税理士事務所と調整 |

### (3) 社会福祉協議会運営のための財源

- ① 社協会費 (添付資料 **1**)
- ② 寄付金 (添付資料 **2**)
- ③ 補助金・委託料

## 2. 地域福祉事業

### (1) 調査・研究・企画・広報事業

#### ① 相談事業の実施

- ・司法書士による法律相談(毎月第3水曜日 年12回開催)

相談件数 54 件

財産問題	21件、	土地・建物問題	14件、	家族・生活問題	4件、
借金問題	4件、	その他	11件		

#### ② 一時援護貸付資金

- ・生活資金の一時的な貸付(少額)……貸付件数 40件(貸付実人数 30人)

令和4年度貸付金額 1,005,000 円 償還金額 644,000 円

#### ③ 民生委員・児童委員との連携による住民福祉の推進 (添付資料 3)

※社協が民生委員・児童委員協議会の事務局になっている。

- ・高齢者、児童、障害者等の見守り、相談、行政へのつなぎ
- ・自治公民館との連携(民生委員を知ってもらい、支援が必要な方々の情報を地域からいただく等)
- ・地域福祉実態調査
- ・会議及び行事

◎毎月上旬に代表者により企画会(役員・地区代表)を実施

◎第3金曜日に定例会(事例発表、行政連絡)

◎全体研修会、会員交流会を実施

◎主任児童委員研修会(不登校、学習支援)

- ・赤い羽根共同募金運動推進 (戸別募金・企業募金のとりまとめ)
- ・敬老の日記念事業 88歳・100歳以上(最高齢108歳)訪問しお茶配布 113人
- ・歳末助け合い訪問

85歳以上1人暮らし高齢者	191人
共に81才以上老夫婦	87組
在宅心身障害者2級以上	131世帯
生活困窮家庭	6世帯
65歳以上在宅認知症	0人

- ・愛のいたわり訪問事業(ヤクルト配布)

85歳以上1人暮らし高齢者世帯	198世帯
在宅心身障害者2級以上	137件
共に81歳以上老夫婦世帯	75世帯

- ・3年に1回の「民生委員・児童委員の一斉改選」令和4年12月1日付け改選
- ・災害時要援護高齢者実態調査
- ・有志が「どうぞ便」、「みまもり隊」のボランティア、サロンの運営も行っている

③貸出備品による生活及び地域活動支援(累計)

貸出実績	テント11張、車椅子32台、机199台、いす571脚 グラウンドゴルフコースセット12組、グラウンドゴルフセット14組
------	--

④金婚式祝賀会の実施による長寿者への祝福 令和4年11月22日(火) 13組 26名

⑤老人クラブ(さんさんクラブ三股)活動支援による高齢者福祉の推進

- ・事務局機能支援
- ・エコロジーボランティア in 三股
- ・さんさんクラブ作品展(町文化祭)
- ・募金運動(赤い羽根共同募金、友愛募金)
- ・福祉施設等への寄付活動(タオル・雑巾)

⑥戦没者慰霊祭の実施による遺族福祉の推進 ※令和4年度までコロナで規模縮小

- ・主催者5人、来賓1人、遺族会34人、職員10人、福祉課1人 計51人 令和4年4月19日

⑦職員の協働による資質・技能の向上

- ・各専門職(保健師、介護福祉士、社会福祉士、一般事務職)の職員が連携し、認知症対策、介護予防、生活支援等を一体的にできるように検討を開始した。
- ・担当する専門分野ごとの研修等については ZOOM を用いて随時受講した。

(2)生活支援サービス体制構築事業(高齢者の生活支援・介護予防)

①通いの場支援活動

地区	地域ふれあいサロン (29団体)	ノルディックウォーキング (11団体)
第1地区	山王原3団体、仲町3団体	山王原
第2地区	上米2団体	上米
第3地区	小鷲巣、寺柱、大鷲巣	寺柱
第4地区	梶山5団体	梶山
第5地区	轟木	轟木、仮屋、大野・大八重
第6地区	勝岡、前目、蓼池	前目、三原
第7地区	下新、今市、中原、花見原	—
第8地区	東原2団体、稗田2団体	東原
第9地区	東植木	—
中央	—	元気の杜

②軽度生活支援活動(生活支援/家事支援)

自治公民館型生活支援	2団体	轟木、今市
障がい就労支援施設型生活支援	1団体	あじさいの里
シルバー人材センター	1団体	三股町シルバー人材センター
生活支援型ボランティア団体	1団体	がんぼっど山王原
町域型(ゴミ出し)	2名	民生委員、一般

### ③移動買い物支援(生活支援)

買い物支援	ひろせ本店	1団体	轟木・仮屋・大野・梶山
(バスツアー)	たでいけ至福の園	6団体	上米、小鷲巣、寺柱、蓼池、下新、東植木
サロン送迎	たでいけ至福の園	1団体	蓼池

### ④地域での協議

- ・自治公民館型生活支援の会議（買い物、簡単な掃除、ゴミ出し）1回開催

### ⑤寝具清掃乾燥消毒サービス事業(生活支援)

- ・寝具類の衛生管理の困難な高齢者、障がい者の寝具類の洗濯、乾燥消毒  
利用実績 26世帯 31人

### ⑥地域リハビリテーション活動支援事業(介護予防)

#### ・元気アップサロン（添付資料 4）

- 第2・第4水曜日 午前の部・午後の部  
社協の作業療法士、言語聴覚士による運動機能訓練

#### ・地域フィットネス教室「ぴしゃトレ」（添付資料 5）

従来型の介護予防のメニューより頻度の高い週1回(毎週木曜日)  
 会場:三股町武道体育館 ※令和4年10月6日開始した新規事業  
**◆高負荷クラス 9:30~10:30 ●低負荷クラス 10:45~11:45** ※年齢制限なし  
 ○専門性の高い外部トレーナー(作業療法士)による運動機能訓練  
 ○令和4年度実績 開催回数 46回 (高負荷23回、低負荷23回)  
 ○参加人数 延べ 1,273名(6カ月間)  
 ○体操・運動のみに特化しているので、男性の参加者も多いのが特徴

#### ・地域ケア会議の開催

- 三股町地域包括支援センター、社協、介護事業者代表、各専門職を集めて、三股町の介護予防の今後の方針等を具体的に検討した。令和4年度中に3回開催。

#### ・個別データの蓄積、分析及びフィードバック

- 介護予防事業の各利用者様の運動機能に関するデータを専用ソフトで解析し、事業の結果を分析し、指導内容の効果を検証・改善する。

### ⑦足もと元気教室(介護予防)（添付資料 6）

- ・町内14箇所で介護予防の体操教室を実施(月1~2回)  
開催回数 192回 参加延べ人員 2,381人

### (3)地域福祉推進事業

#### ①ボランティアによる活動

- ・おもちゃ病院(月1回)、手話講座(毎週火曜日)、手話サークル(毎週水曜日)
- ・布絵本づくり(毎週火曜日)、障害者ふれあいサロン(月2~3回)、

②エコロジーボランティア 令和4年8月28日(日)開催 43団体 542人

### (4)生活困窮者相談支援センター事業 (添付資料 7)

生活困窮者への生活・経済・健康・就労相談等を総合的に支援する。

主な相談内容 ・生活費、住まい、債務整理、就労支援

相談支援方法 ・来所相談 ・訪問相談

・個別支援会議の開催

・福祉課及び南部福祉こどもセンター等との連携

### (5)支援対象見守り強化事業 (添付資料 8)

「みまたん宅食どうぞ便」により、町内に居住する18歳以下の子供がいる生活困窮世帯に月に1回10食分の食材を届ける。食品ロスの解消に貢献するとともに、食材提供により、その世帯とボランティアさん、社協と関係性を深め、アウトリーチが可能となる。僅かな異変にも早期に気づき、問題の深刻化を未然に防止できる。

・令和4年度実績：年間872世帯(月平均 72.7世帯)、延べ28,660食

・先進事例として、他市町村や県、厚生労働省、支援団体から多数問合せや多く、他の地域の「子ども宅食」の立ち上げに協力し、この事業の啓発・普及を行った。

・当事業の実施により、不登校児童・生徒の不登校支援、学習支援、保護者の就労支援事業にも波及した。

### (6)認知症総合支援事業 (添付資料 9)

認知症地域支援推進員(保健師)による相談支援・受診勧奨・支援者育成

①認知症患者、家族の相談支援

②地域包括支援センターとの協議

③関係機関、事業所、医療機関との連携

④専門医療機関との連絡調整、受診立会い

⑤認知症カフェの活用(コーヒーチケット)

⑥家族会の開催

⑦研修会の参加 ※令和3年度は ZOOM 会議が中心)

⑧脳年齢測定会、相談会の実施

⑨認知症サポーター養成講座(小・中学校)

⑩認知症サポーターリーダー定例会の実施

⑪認知症サポーターリーダーの育成、フォローアップ研修の実施

⑫認知症に対する正しい知識の普及啓発活動(三股町ふるさとまつり)

⑬認知症情報誌「Poturi」~ぼつり~の発行

(7)法人後見センター事業 (添付資料 10)

成年後見制度の成年後見人を社会福祉協議会が行う事業。

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等判断能力の不十分な方の金銭管理、財産管理、福祉サービス等の契約などを成年後見人が行います。

- ・令和3年10月に本格的な準備を開始。令和4年7月から本格稼働。
- ・令和5年1月より、成年後見の無料相談会の開催(毎月第4木曜日)
- ・令和5年3月に1例目を受任。

(8)福祉サービス利用援助事業 (添付資料 11)

日常生活自立支援事業(安心サポート)により、認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等判断能力の不十分な方が地域で安心して自立生活を送るため、生活支援員を派遣し相談・情報提供・見守り・金銭管理等の福祉サービス利用援助を本人との契約により行う。

- ①判断能力の不十分な人への福祉サービスの利用援助
- ②日常的な金銭管理
- ③定期的な訪問による生活変化の察知

・利用人員 17人 年間延べ支援時間 542時間

(9)配食サービス事業 (添付資料 12)

- ①食事の困難な高齢者への食事の配達
- ②利用者の安否確認

・月平均食数454食 年間5,453食 ※元年度 2,968食 2年度 4,658食、3年度 5,364食

(10)自殺対策強化事業

- ①自殺予防の啓発活動

- ・「健康診断」、「町表彰式」、「ふるさとまつり」での啓発資材配布(ボールペン、チラシ)
- ・自殺予防月間、予防週間  
ポスター掲示、チラシ、パンフレット配布(社協・文化会館、街頭募金会場の3箇所)  
横断幕の掲示(町武道館のフェンス)
- ・更正保護女性会……高校生にチラシ・テッシュ配布
- ・自殺予防月間街頭キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症対策のため中止

- ②傾聴講座の実施 参加人数 62名

- ・傾聴基礎講座 25人
- ・ステップアップ講座 24人
- ・傾聴ミニ講演会 13人 講師:三輪邦彦先生(日向市在住)

- ③相談業務

月平均相談件数 15件 相談件数 183件

(11)子育て支援センター事業（添付資料 13）

①育児不安等について相談指導

・食事、発育、育児、健康、しつけほか 14件

②子育てサークルとの連携による育成

読み聞かせグループ「おおきな木」のおはなしかい	7回	59人
ふわふわ布絵本	10回	118人
お茶の会、ミマタチルドレンサークル	9回	15人
親子ふれあいコンサート「小さな音楽会」	12回	261人
アロマテラピー教室	6回	21人
童謡リトミック教室	1回	10人

③情報交換、交流会の実施

親子製作	5回	68人
誕生会	6回	43組

④関係機関等との連携

宮日母子福祉事業団による子育て講座	6回	99人
消防署による救急法講習	2回	4組
子育て講演会	3回	10組
ALTによる「英語であそぼう」	31回	381人
療育等支援事業(ウルトラマン教室)	6回	9組
ジャーンズΩコンサート	1回	31人

⑤子育てだよりの発行(2カ月に1回 年6回)

(12)ファミリーサポートセンター事業（添付資料 14）

・育児援助提供会員・育児援助依頼会員の募集及び登録

提供会員 79人、依頼会員 311人、両方会員 43人 ※令和5年3月末現在

(13)総合福祉センター管理運営事業（添付資料 15）

①施設の貸出業務

②施設内・多目的広場清掃及び除草、屋外トイレの清掃

③夜間・休日の会議室等貸出管理

(14)在宅高齢者いきがい活動支援通所事業（添付資料 16）

・総合福祉センター内の「生きがいデイサービス」

・介護保険の認定を受けていない高齢者等に対する介護予防のサービス

日常動作訓練、生活指導、健康指導、入浴(月曜～土曜日)

(15)共同募金配分金事業（添付資料 17）

・各小学校6校に「高齢者疑似体験セット」を寄贈



(16)助け合い金庫貸付事業

・低所得者への不時の出費、自立更正に必要な資金の貸付(限度額5万円)

(17)生活福祉資金貸付事業(宮崎県社会福祉協議会事業)

・失業や減収等による生活困窮者に対し生活資金、住宅資金、教育資金他の貸付

(18)コミュニティデザイン・ラボ (添付資料 18) Community Design LAB.

「コミュニティデザイン・ラボ」とは、重層的支援体制整備事業のもとに三股町社会福祉協議会にある実践支援研究室のこと。

目的：「地域課題」に即した活動と「プレイヤー」を生み出すことで地域の困りごとを「解決」していく。

方法：「考える場」「魅せる場」「出会う場」を積極的につくり、課題を地域の皆さんと解決していく。

○地域課題の共有……「社会問題井戸端会議」を開催し、住民、企業、福祉専門職、デザイナー、(考える場) 行政、異業種の方々、外国人など、いろんな枠組みを超えて、地域課題に対してアイデアを出すことで、化学反応が起き、これまでにない支援活動が生まれます。

○活動は楽しく……活動をを通して、課題の解決ができたとき、「生きがい」、「やりがい」が生まれ仲間と活動することで楽しく、積極的に活動することができます。

○より魅力的に……さらなる活動家(プレイヤー)を増やすために、新たな活動にユーモアのある(魅せる場) ネーミングとロゴをつくり、地域福祉活動をもっと魅力的に丁寧にブランディングします。カッコいいデザインで気持ち上がり、新たなプレイヤーも集まります。また、分かりやすく、手に取りやすい魅せ方で、紙媒体や SNS で相手からの共感を得られやすくなります。

【これまでにプロデュースし、支援している事業】

○こども宅食「みまたん宅食どうぞ便」

○こども食堂「りんりん食堂」

○森の子学習塾(タテヨコナメ) ※不登校の子ども達に学習の機会・居場所を与える。

○森の子食堂 ※不登校の子ども達に食事を提供する。

○つながる味噌づくり ※多世代で味噌づくりを行うことで、食育を行う。

○「地球人ベース」 ※外国人の技能実習生等の支援(日本語教室、日本人交流)

○グローバルゲストハウス「WAJIMA」 ※外国人支援のための拠点

○「キママプロダクツ」による就労支援 ※ひきこもり気味の方々のサポート・訓練

○買い物ツアー型サロン

○樺山購買部 ※免許返納後の買い物支援、寄付文化の醸成、多世代の居場所

○コマーキングスペース・コメ ※地域の居場所、認知症カフェ

○ゆるスポ ※不登校の子ども達がスポーツを通じて、地域と交流する。

### 3. 居宅介護等事業

(1)居宅介護支援事業（添付資料 **19**） ※介護保険関係のケアマネジメント業務

- ①介護保険事業による介護相談の受付
- ②介護計画(ケアプラン)作成

(2)訪問介護支援事業(介護保険・総合事業) ※高齢者へのヘルパー派遣

・介護保険の認定を受けた高齢者への居宅へ訪問して行うサービス(添付資料 **20**)

- 居宅における入浴、排泄、食事等の身体介護
- 掃除、洗濯等の家事支援

・総合事業による要支援、事業対象者への居宅へ訪問して行うサービス(添付資料 **21**)

- 掃除、洗濯等の家事支援
- ※総合事業とは「介護予防・日常生活支援総合事業」のこと

(3)障害者福祉サービス居宅介護事業（添付資料 **22**） ※障害者へのヘルパー派遣

・障害者への居宅へ訪問して行うサービス(総合支援)

- 居宅における入浴、排泄、食事等の身体介護
- 掃除、洗濯等の家事支援

(4)軽度生活援助事業

・介護保険の認定を受けていない高齢者世帯に対するサービス（添付資料 **23**）

- 簡単な食事の支度・洗濯・掃除・買い物の便宜供与

・ゴミ出し支援（添付資料 **24**）

(5)通所介護事業（添付資料 **25**） ※三股町デイサービスセンター

・介護保険の要介護及び要支援の認定を受けた者に対するサービス

- 令和5年度で町からの指定管理期間が終了。認知症デイサービスを検討中。

(6)訪問入浴事業（添付資料 **26**）

・一人での入浴困難な障害者や高齢者を訪問入浴車で訪問し、身体の清潔保持、心身機能の維持するための入浴の援助

(7)訪問看護事業（添付資料 **27**） ※訪問看護ステーションなごみ

・居宅を訪問しての看護事業(介護保険及び医療保険を利用)

(8)障害者基幹相談支援センター事業（添付資料 **28**）

- ・障害者(児)の相談に応じ、問題解決に向け一緒に考え、情報提供や助言など、必要な福祉サービスの利用支援や調整を実施
- ・障がい児者連絡協議会活動の研修会、福祉学習会、ニュースポーツレクリエーション等
- ・地域生活支援拠点の整備(4団体で整備)
- ・障害者自立支援協議会の運営
- ・保育士向けの療育相談会の実施

(9)障害児者相談支援事業（添付資料 **29**）

- ①障害福祉サービス等を申請した障害者(児)へサービス等利用計画の作成
- ②支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)

#### 4. 共同募金事業 (添付資料 30)

(1) 三股町共同募金委員会(社会福祉協議会理事と兼務)

- ①赤い羽根共同募金運動計画協議 令和4年9月29日
- ②共同募金配分審査会配分審査委員会の開催 令和5年2月27日
- ③共同募金配分審査会配分金の報告 令和5年3月13日

(2) 赤い羽根共同募金運動の展開

- ①民生委員・児童委員との連携による募金活動 令和4年10月～12月 ※社協職員で対応
- ②自治公民館への戸別募金の協力依頼 //
- ③学校・保育園・幼稚園ほか施設への協力依頼 //
- ④企業等への法人募金の協力依頼 令和4年11月～12月 ※民生委員さん

#### 5. 日本赤十字社三股分区事業 (添付資料 31)

(1) 日本赤十字活動への寄附活動

- ①自治公民館の協力により各支部を通じて寄附活動を実施 6月～8月
- ②募金箱設置による義援金活動(役場、元気の杜)

大雨災害義援金(平成4年7月)	宮城	26,156円
大雨災害義援金(平成4年8月3日)	山形・石川・新潟・福井・青森	91,418円
台風15号災害義援金(平成4年9月)	静岡	63,812円
ウクライナ人道危機救援金	ウクライナ	414,665円
2023年トルコ・シリア地震救援金	トルコ・シリア	127,874円

計 723,925円

(2) 赤十字ボランティア活動

- ・日赤奉仕団の育成、活動支援
- 現在、町内では40名が奉仕団として活動しております。

(3) 広報啓発活動

- ①赤十字活動啓発チラシの全戸配布 6月
- ②ポスター掲示、のぼり設置(公共施設) 5月～8月

(4) 救護資機材の備蓄

食糧	米	4俵
	即席ラーメン	3ケース
物資	毛布	10枚
	ブルーシート	20枚
	タオルケット	20枚
	緊急セット	10組
	ハイゼックス袋	100枚